

# 委員会 レポート

委員会活動として、閉会中に行った所管事務等調査の結果内容を、各委員会は第2回定例会において、次のとおり報告しました。

## 総務文教常任委員会

委員長 橋本晃明

■調査事項  
社会教育の活動現況について

■調査の結果  
平成18～22年度までの第6次清水町社会教育計画では、「いきいきと学び合える社会の実現」を基本目標に、青少年教育、成人教育、家庭教育、文化振興、スポーツ振興、社会



文化活動の顔になっている第九演奏会

958千円の補助金が交付されている。

「厳しい財政状況だが、この事業は譲れないというものがあればいい

か、「スポーツ振興の健康づくり活動は、保健福祉との統合も必要ではないか」等の意見も出されたが、教育委員会としては、本町の社会教育分野には第九演奏会、アイスホッケー競技等の顔になる要素がたくさんあり、社会教育活

■調査事項  
しみず温泉施設の売却状況等について

■調査の結果  
仲介業者からの報告により、紹介件数154件、問合せ件数13件、現地確認3件で、2月28日現在で3件の申し込み、さらに1件が申し込み予定であると担当者から説明を受けた。

## しみず温泉施設売却等に関する調査特別委員会

■調査の結果  
今後は選定委員会の意見を求め、3月中に売却先を決定することになる。

■調査事項  
品目横断的経営安定対策について

■調査の結果  
平成19年から新たにスタートした品目横断的経営安定対策の状況等について、JA十勝清水町の職員から説明を受けた。

目別価格対策が見直され、意欲のある担い手を対象に経営の安定を図る施策とするものである。

対象農作物は、米、麦、大豆、てん菜、でんぷん原料用ばれいしよ、生産者への支払いは生産条件格差是正対策から交付金と品代に分離されており、交付金は、過去の生産実

績に基づく「緑ゲタ」、毎年の生産量・品質に基づく「黄ゲタ」に分かれていて、その比率割合は7対3。単価については、交付金に品代が加算される形

JA十勝清水町では、この対策による影響を約4億円の減収と見込んでいる。初年度で問題点が多々あり、今後は政治折衝の行方を見守りながら進めていく方向だが、JA側

の要望として、交換分合や借地、作付け等に問題が生じる場合があるため、JA、農業委員会、役場の共通認識が必要とのことであった。

## 産業厚生常任委員会

委員長 森田慎治



JA十勝清水町にて対策の影響や状況等について説明を受けた